

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業評価シート						令和 2 年度事後評価・決算		所管課		生涯学習課			担当班	文化振興班			
事務事業名		コード	42100	大原幽学記念館管理費(活動費含む)		予算科目		会計		款	項	目	事業種別	文化振興班			
						一般		10	4	11	☒ 主な事業						
施策体系	基本施策	12		芸術文化の振興・伝統文化の保存		根拠法令		文化財保護法、博物館法、大原幽学記念館の設置及び管理に関する条例						☒ 国土強靱化地域計画			
	施策の展開	28		文化財の保護		戦略事業		130	大原幽学関係資料の保護・保存					☒ 新市建設計画			
	施策の展開					戦略事業								☐ 定住自立圏構想			
															☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 7 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	大原幽学及び郷土の歴史・民俗等に関する資料を収集・保管・展示を行うことで地域文化の向上に寄与するため、古文書調査の実施、収蔵庫内の管理、企画展示や講座の開催を行う。【活動経費】臨時職員2名(館長・用務員)の賃金、講師や研究員の謝礼、印刷物の作成費などがある。【維持管理業務】記念館は敷地面積1,531.5㎡、延べ面積1,134.28㎡の鉄筋コンクリート地上2階建の施設で、展示室、収蔵庫、学習室などからなっている。国指定重要文化財の大原幽学関係資料を中心とする郷土の歴史・民俗資料の保存・管理や来館者の対応のため、設備の保守・整備を行う。保守点検(浄化槽・受電設備・消防設備・エレベーター)、館内清掃、くんじょう作業を含む館内環境調査、ネズミ防除を業者に委託している。	大原幽学関係資料が国指定重要文化財となり、専門職員をおいた保存公開施設が必要となったため、平成8年3月に記念館が開館し、博物館施設としての業務が行われるようになった。	・新しく発見された古文書などがあり、国指定重要文化財の追加指定を目指して、継続して調査、研究を行っている。 ・令和元年12月に登録博物館となり、地域の公立博物館としての役割が求められる。	・施設利用者の方から「高齢者の使用料免除がなく不満」、「せっかく良い展示があるのにPRが足りない。地域の子どもたちにもっと利用してもらってはどうか。」との意見がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.賃金	2,101	会計年度任用職員報酬、職員手当、交通費
2.報償費	963	講師謝礼、研究員報償費
3.需用費	6,811	光熱水費、修繕料、消耗品、印刷費、図書購入、ガソリン代
4.委託料	2,536	保守(浄化槽・受電・消防・エレベーター)、消毒、ネズミ防除、清掃
5.その他	2,507	旅費、役務費、使用料、賃借料、備品
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	2,002	文化財保存整備事業費補助金
2.都道府県支出金	500	文化財保存整備事業費補助金
3.地方債		
4.その他	979	入館料

		単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
事業費	費目内訳						
	1.賃金	千円	2,759	2,809	3,564	2,101	2,663
	2.報償費	千円	924	912	721	963	985
	3.需用費	千円	6,956	4,186	5,178	6,811	3,941
	4.委託料	千円	2,021	2,049	4,491	2,536	2,153
	5.その他	千円	1,578	1,581	28,486	2,507	1,281
財源	事業費計(A)	千円	14,238	11,537	42,440	14,918	11,023
	1.国庫支出金	千円				2,002	
	2.都道府県支出金	千円				500	
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円	556	541	348	979	369
		千円	13,682	10,996	42,092	11,437	10,654

前年度増減理由	前年度空調設備更新工事実施のため
---------	------------------

従事職員数	常時 2 人	最大 3 人	× 257 日 =	延べ 771 人
-------	--------	--------	-----------	----------

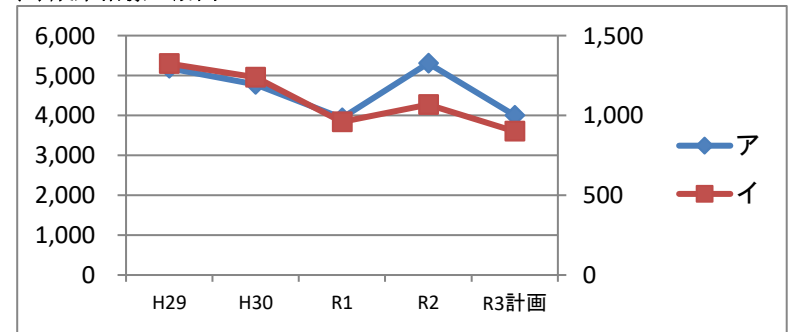
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)							
	・消火設備取替工事実施 ・登録博物館記念事業 ・企画展「美を継ぐもの 帝室技芸員 濤川惣助」開催 ・文化財調査事業	ア 記念館開館日数	日	295	305	209	257	300
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 講座・企画展開催回数(延べ)	回	90	83	70	75	72
	対象 市民、観光客 意図 記念館へ来館することにより、郷土の偉人である大原幽学の活動や業績を知ることができる。 対象意図 市民 地域の歴史や文化財に対する理解が深まる。	ア 大原幽学記念館の年間入館者数	人	5,180	4,774	3,934	5,307	4,000
		イ 講座受講者延べ人数(学習機会をもった利用者がどれくらいいるか)	人	1,324	1,238	960	1,068	900

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
大きい	大きい		②		中位 1/3
					上位 1/3
普通	普通		③		
小さい	小さい		④⑤		
			⑥		
			⑦⑧		
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい ☐ 低下
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい ☐ 低下
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()
		令和3年度中	企画展を開催する。	令和4年度以降	故障・不具合の生じている設備の改修工事の実施	